



No. 407 令和7年3月31日

おおたこうれん

発行所
東京都大田区南蒲田1-20-20
電話(3737)0797・FAX(3737)0799
一般社団法人工業連合会
発行人会長 広瀬安宏
E-mail: office@ootakoren.com
ホームページ: <https://ootakoren.com>
印刷所
東京都大田区大森西4-6-13
電話(3766)1711
株式会社 気生堂印刷所



会場風景

2025年2月7日、大田区産業プラザPiOでMeet New Solution in OTAが開催された。主催は大田区、(公財)大田区産業振興協会で、後援が(一社)大田工業連合会、(二社)日本能率協会。「Meet」「Inspire」「Challenge」「Dream」「Support」をキーワードに、社会的課題の解決を目指す企業が一堂に会し、優れた基盤技術を有する企業も多数出展。大田区と同様に、スタートアップ・ベンチャー企業が活発に活動しているまち大田区の名の下に、優れた基盤技術を有する企業も多数出展。浜松市も協力し、会場を盛り上げた。



蒲田工業協会の所属企業で開発中の車椅子

蒲田工業協会の企業が共同で開発中の車椅子も展示された。羽田空港から大田区産業振興協会へ「大田区の企業にお願いしたい」との要望があり、会員企業が開発をスタート。手荷物検査場から搭乗に至るまで乗り換える必要がないよう、サイズや使用素材にこだわって開発が進められている。

の開発・加工支援について展示了した。創業者の岸本哲三会長が、十数年前に新事業として始めたのがアクリルの加工だ。須藤裕子専務は「最初は無駄なことをしているのではという声もあつたが、製品を見た人から新たな発想が広がつて仕事につながつてている。ベンチャー企業と新しいものづくりをしていきたい」と意気込みを語った。



浜野製作所の浜野慶一CEO(左)とマテリアルの細貝淳一社長(右)

福島市からやつてきた（株）ミューラボは、福島大学発ベンチャー第一号。小径・高出力で精密な角度制御を可能にした減速機を紹介した。小型ロボットの間接部に使用できるよう、小径化を意識したシンプルな構成が特徴だ。

特別ディスカッションでは（株）マテリアルの細貝淳一社長と墨田区の（株）浜野製作所の浜野慶一CEOが、ファシリティーの鵜飼信一早稲田大学名誉教授と「町工場と『新時代』のものづくり」について語った。浜野CEOは「人が想いをつないでいき、企業自体も進化し続けていく」と語った。終盤には両社の後継者も登壇した。優れた技術を持つ企業が集積する大田区だが、地域内の連携だけでは成長に限りがある。同展示会は、外部との出会い、つながりの重要性を示唆する貴重な機会となつた。

出会いとつながりが世界を創る —Meet New Solution in OTA開催

【大田区優工場 新製品・新技術コンクール】

表彰事業で受賞された企業をご紹介します。
受賞企業の皆様、おめでとうございます。

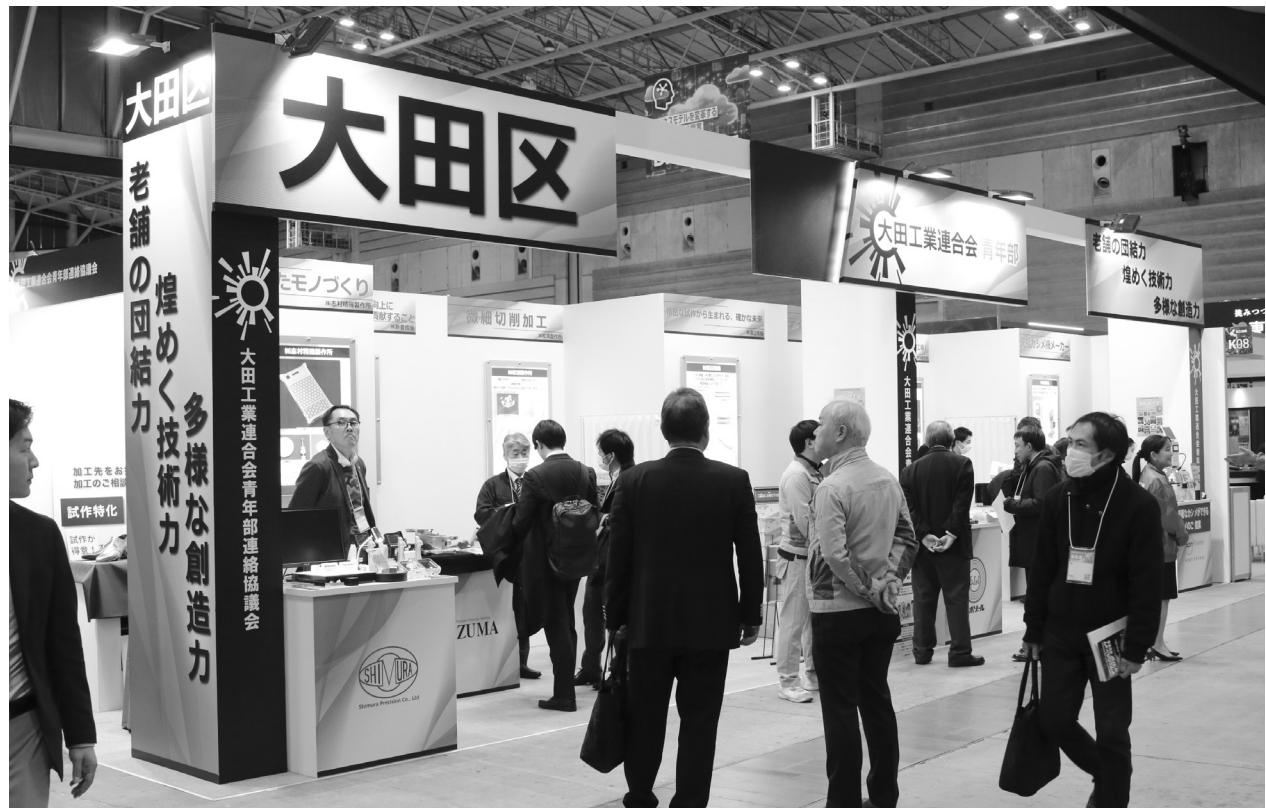
——令和6年度——
大田区優工場 受賞企業

- | | |
|-------------|---|
| 《総合部門賞》 | ・木田工業株式会社 |
| 《人に優しい部門賞》 | ・堀越精機株式会社 |
| 《まちに優しい部門賞》 | ・株式会社フルハートジャパン |
| 《認定工場》 | ・有限会社伊藤工業製作所
・大森精密工業株式会社
・カネモク工業株式会社
・株式会社小池製作所
・有限会社里中精機
・株式会社三陽機械製作所
・東洋電熱株式会社
・ハネダ株式会社
・宮城精工株式会社 |

——第36回——

- 《最優秀賞》
 - ・溶接ビード自動研削装置「SE・サンダー」(株式会社カットランドジャパン)
 - 《優秀賞》
 - ・産業用 FFF 式 3D プリンター「G-ZERO L1」(株式会社ゲーテンベルク)
 - ・超小型システム照明「ORBIT」(オービット) (トキ・コーポレーション株式会社)
 - 《奨励賞》
 - ・ホットランナー成形装置「SEPT」(フィーサ株式会社)
 - ・大電流コネクタ「RM コネクタ」(株式会社三桂製作所)
 - 《OTA ライフサイエンス賞》
 - ・Conteeth (コンティース) (株式会社三和デンタル)
 - 《OTA TECH 賞》
 - ・立体形状の壁面製造技術「SORIORI TENJI」(ソリオリ テンジ) (株式会社 OUTSENCE)
 - 《OTA スクラム賞》
 - ・熱伝導ペースト改良版 SCP-3 (株式会社塩原製作所)
 - 《OTA アイデア賞》
 - ・ロールインコネクター (ウイトコオブジュピター電通株式会社)

テクニカルショウヨコハマ2025に青年部出展 リアルとSNSで 大田区の技術をアピール



青年部展示ブース 9社

テクニカルショウヨコハマ2025主催・(公財)神奈川産業振興センター、(一社)横浜市工業会連合会、神奈川県、横浜市に、大田工業連合会青年部連絡協議会の有志9社が出展した。開催は2025年2月5日から7日まで。会場はパシフィコ横浜(横浜市西区)。出展者は、(株)エポゾール、(株)極東精機製作所、(株)弘機商会、(株)志村精機製作所、(株)泰信製作所、(株)タムラエジア、新妻精機(株)、(株)松浦

制作所、(株)渡辺精機。開催にあたり、松浦製作所の松浦貴之社長は「大田区の技術力をアピールし、付加価値の高い仕事を獲得していきたい」と狙いを語った。今回の出展では会期中、Xを使って投稿すると、抽選でホットプレートなどが当たるトーナメントを実施。会期中に大田工連青年部のアカウントをフォローし、「#大田工連青年部」を付けて投稿すると、抽選でキヤンペーンで、初の試みだった。

今回、初出展となる新妻精機は、(株)タムラエジア、新妻精機(株)、(株)松浦



志村精機製作所、志村哲央社長

は、ベースに色を塗った加工サンプルを並べ、カラフルな雰囲気を打ち出した。今部正明係長は「横浜エリアの企業に当社の存在をアピールしたい」と意気込んでいた。弘機商会は自社商品であるスピンドル式のカシメ装置を紹介。一般的なプレス式のカシメ機に比べ、8分の1の少ない力でカシメるのが特徴で、内視鏡の先端部分の製造など医療分野でも使われている。

志村精機製作所は、超精密加工品を展示。虫眼鏡で拡大しないと見えない日本刀や、指先サイズの竹とんぼなどを紹介し、技術力をアピールした。

バイク部品を手がける泰信製作所は、ホンダの小型バイク「エイプ」を持ち込み、自社の事業内容を分かりやすく打ち出した。

タムラエジアは、カ

テーテルチューブなどを

成型するためには

必要な複合金型を展示。積層する

チューブを一発成型する精密な金

型を置き、同社の技術力を訴えた。

田村波音社長は「何種類か部品を

展示していたが、医療用カテーテルの金型に興味を持つ医療関係者が多かった。社内では当たり前な加工も、実は強みであると気付かされた」と感想を述べた。

エポゾールは、自社技術であ

るディップ成型の方法と用途に

ついて展示を行い、サ

ンプル品として、車の

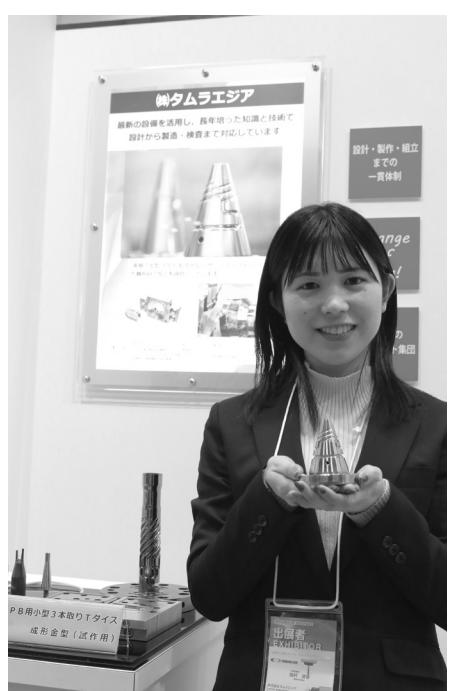
ナンバープレートを止

めるビス用のカバーを

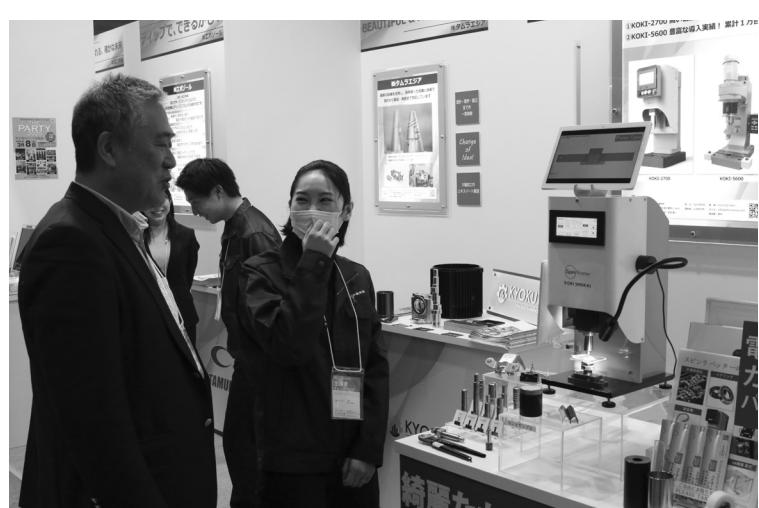
配布した。極東精機製

作所は、マニニング

センタによる加工品の



タムラエジア、田村波音社長



視察する広瀬会長

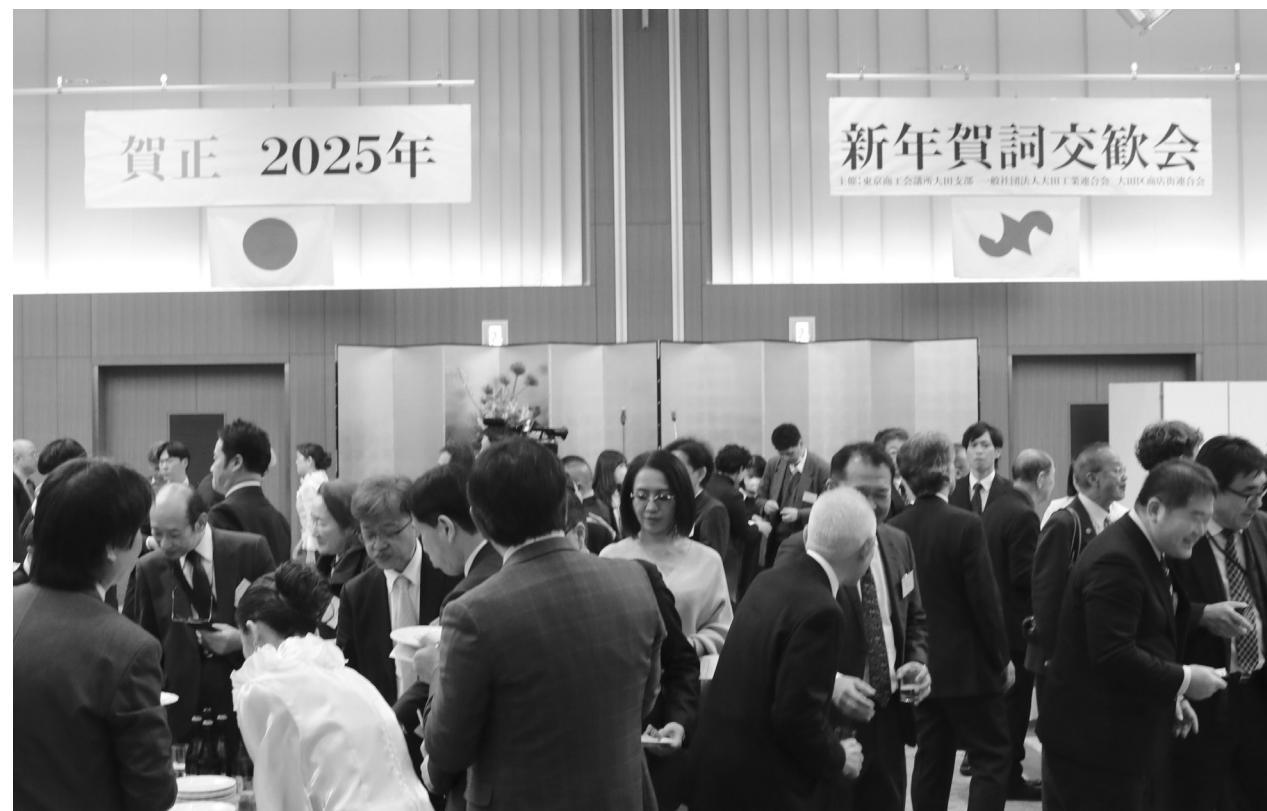
ほか、自社製品である美容機器「フェイスボイント」を紹介。渡辺精機は精密加工の加工サンプルを並べ技術力をPRした。初日には当会の広瀬安宏会長も来場し、各社のブースを見学したあと「大田区の技術力を伝える良い展示だ。展示会後のフォローをしっかりとやって仕事につなげてほしい」と感想を語った。



エポゾールのディップ成形品サンプル

新春講演会・賀詞交歓会 2025 開催

区内企業、人財、テーマに パネルディスカッション



三団体賀詞交歓会風景

2025年1月上旬、大田工業連合会が関連する年始の集いが相次ぎ開催された。1月10日には当会、東京商工会議所大田支部、大田区商店街連合会による新年賀詞交歓会が、14日には当会に所属する4団体（蒲田工業協同組合および工和成年会、蒲田工業協同組合および木鶴会）の合同新春講演会・賀詞交歓会が開かれた。若手からベテランまで、製造業を中心とした大田区の企業経営者らが集

まり、新年のはじまりを祝った。1月10日17時から大田区産業ホールで開かれた新年賀詞交歓会には、来賓として鈴木晶雅大田区長、松原秀典大田区議会議長のほか、衆議院議員の平将明氏、松原仁氏、参議院議員の柳ヶ瀬裕文氏らが参加。来賓挨拶で鈴木区長は「昨年は新しい大田区の基本構想を発表し、大田区産業ビジョンを策定した。本年は、大田区が東京の経済を引っ張っていくという決意をもち、皆様のお力をいただい

て区政運営をさせて頂きたい」と決意を表明した。

東京商工会議所大田支部の浅井隆副会長の乾杯で懇親会が始まると、会場のあちこちで杯を合わせる音が響く。参加者は談笑に花を咲かせた。

中締め挨拶は、当会の広瀬安宏会長。「今年は已年で変化の年だ。社会でもいろいろな変化が生まれてくると思うが、自分がしっかりすれば乗り切れる」と語り、三本締めで宴会の幕を引いた。

1月14日の新春講演会・新春賀詞交歓会もPiO4階コンベンションホールで開催した。同会では例年、各会の有識者を講師に招き講演会を行っているが、今回は趣向を変え、中小製造業の社長によるパネルディスカッションを実施した。

蒲田工業協会からファイーサ（株）の斎藤進社長、大森工場協会から（有）関鉄工所の関英一社長、蒲田工業協同組合から（株）富士テクノマシンの飯室肇社長、工和成年会から（株）マックスの正木圭新事業推進部部長、日本工学院専門学校から永持智子キャリアサポートセンター長が登壇した。ファシリ

テーターは、学校法人片柳学園理事長、日本工学院専門学校校長の千葉茂氏が務めた。

パネルディスカッションに先立ち、千葉理事長が講演。演題は「人財獲得に苦しむ中小企業。送り出す学校は？若者の思考は？」ものづくりの継続へ向けて」と。千葉理事長は若者について「良いことが少なかつた時代で、デジタルネイティブな世代」と分析。「多くの人と接した経験が少なくコミュニケーションが苦手。人の話を素直に受け入れるが、悪い点を指摘されると落ち込んでしまう」と述べた。

日本工学院専門学校では工業系の学生が減る一方、工業系の求人は増えており、電子技術や電気・電力技術、機械技術などは求人倍率が100倍を超えていている。外国人の学生が増えるのも近年の傾向。大田区のものづくりの魅力を発信すれば、地元で働きたいという海外人材は獲得できる」と語った。

パネルディスカッションでは、人材確保の実情と課題について、「3年で辞める社員が目立つ。人材紹介会社に払う経費は高い」（斎藤社長）、「普通の就職説明会経由で入社する新人は少ない。地元のネットワークに頼るのが良いかもしれない」（関社長）、「人材募集をして、電話もかかるてこない。紹介会社に文句を言つたらサクラから電話があった。日本人の若者は打たれ弱く、最近は外国人の若者を採用している。最初は何も分からぬが、素直に努力してすぐに戦力になる」（飯室社長）など

の意見が交わされた。

若年層の「ものづくり離れ」については、「ものづくりはセンス。何も教えなくても綺麗にでき子もいれば、そうでない子もい



鈴木区長



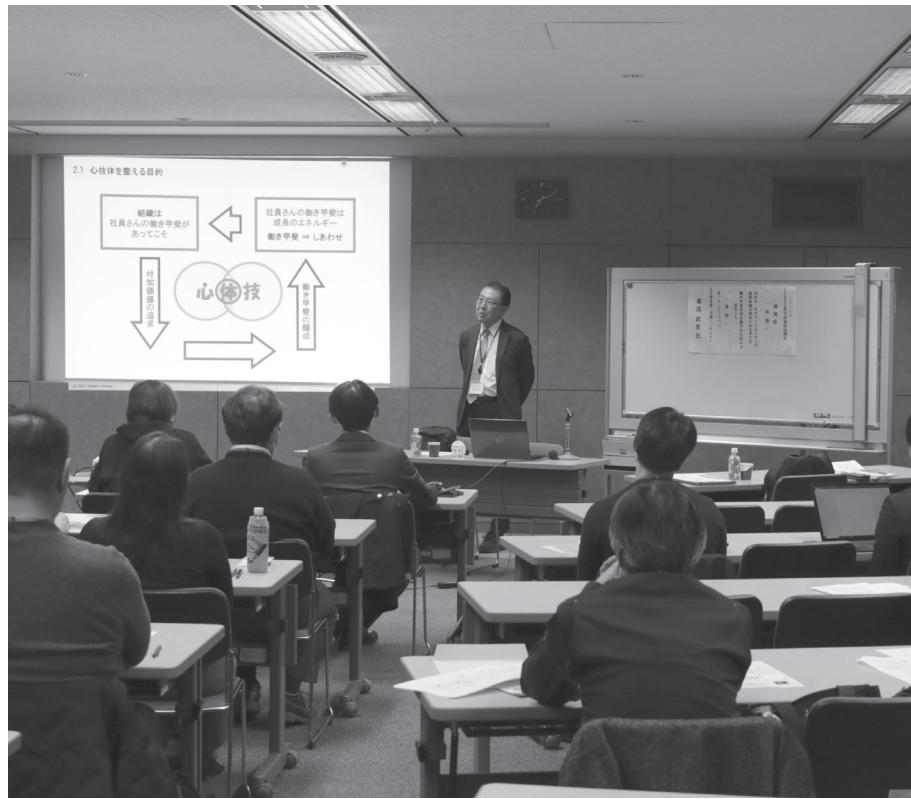
広瀬会長

る」（飯室社長）、採用PRについては「自社PR動画を作った。1分を超えると飽きられてしまうと言われたので、コンパクトにした」（斎藤社長）、「ウェブやSNSは苦手だが、発信することができればつながりも生まれると思うので頑張っていきたい」（関社長）、「SNSは継続が大事。学生の力を借りることも必要。外国人はSNSで求人を探すが多く、外国人採用には役立つ」（正木部長）などの声が上がった。

パネルディスカッションの後は懇親会が開かれ、参加者は仲間との会話を楽しんだ。ワイヤー放電加工を手がける（有）織田の織田法彦氏は、「今年は新しい加工機械を導入する計画だ。地域の仲間とのつながりも増やし、仕事を頑張っていきたい」と新年的抱負を語った。



パネルディスカッションでは活発に意見が交わされた



会場風景

大田工業連合会青年部連絡協議会は2月27日、大田区産業プラザPiO2階の会議室で、「疑問に答える」講演会を開催した。テーマは「ほめる・モチベーションアップ・価格転嫁の根本にある働き甲斐を育み続けるために大切なこと／働き甲斐、魅力ある組織になるために」。講師は(株)GICジャパンの主任審査員、主席コンサルタントを務める眞道武彦氏がつとめた。32人が参加した。

講演会の冒頭、奥山隆行委員長(日新電気株式会社社長)が挨拶。「社員の働き甲斐を育み続けることには、多くの経営者が頭を悩ませている。講演会を聞いて、内容を経営に役立てたい」と述べた。眞道先生は「昨今は目に見えるものばかり優先される時代だが、組織は人あってこそ。定量評価は大事だが、目に見えない心技、働き甲斐などの定性的なものも大切にしなくてはいけない」と述べた。

眞道先生は「昨今は目に見えるものばかり優先される時代だが、組織は人あってこそ。定量評価は大事だが、目に見えない心技、働き甲斐などの定性的なものも大切にしなくてはいけない」と述べた。眞道先生は「昨今は目に見えるものばかり優先される時代だが、組織は人あってこそ。定量評価は大事だが、目に見えない心技、働き甲斐などの定性的なものも大切にしなくてはいけない」と述べた。

「会社は社員の働き甲斐があつてこそ。働き甲斐があれば社員が努力し仕事に付加価値がある。働き甲斐こそが会社を成長させることだ」

話は社員のモチベーションにも及んだ。「モチベーションが上がらないのはなぜか。目的や目標が定まっていない、頑張っても正に評価されないなど理由はさまざまだ。インターネットで調べ、コンサルタントに訊ねたら、職場環境を整える、ワーク・ライフ・バランスを実現するなどの解決策が出てくるだろう。しかし形式的な解決策を導入すると、それを導入すること自体が目的になってしまい、よろしくない。何がきっかけでモチベーションが上がるかは人それぞれ。どうすれば良いかに正解はない」とキッパリ。

眞道先生は「その理由と背景を認識することが大切」と眞道先生。効果のある褒め方、褒める内容も人それぞれ違う。「どうすれば良いかが正解はない、ハウツーに頼つてはいけない」と繰り返した。

言葉の使い方にも話が及んだ。人が理解し合うには言葉が必要だが、発する人によつても受け取り方は異なる。ネガティブな言葉を受け取った時には、「怒り、悲しみを感じてもそのまま言葉にしない、マイナスをプラスに解釈する」などの方策を語り、「言葉の使い方を変えよう。条件反射で話してしまう口癖なども変えていく」と呼

「働き甲斐」をテーマに講演会を開催



大田工業連合会 2025 R7年スケジュール

4月 ■実践汎用旋盤・フライス盤講座(1回目)

4月12日(土)、19日(土)、26日(土)(毎土曜日3日間)9:15~16:30

5月 ■新入社員セミナー

5月14日(水)、15日(木)、16日(金)(平日3日間)9:30~16:30

★理事会 5月下旬開催

6月 ■CAD製図初級講座(Auto CAD2025)(1回目)

5月31日(土)、6月7日(土)、14日(土)(毎土曜日3日間)9:15~16:30

★大田工連 第66回定時総会 6月6日(金)

■やさしい図面の見方講座(城南職業能力開発センター大田校開催)

6月21日(土)、28日(土)(毎土曜日2日間)9:15~16:30

7月 ■第1回 産業のまち発見隊「親子工場見学会」7月23日(水)9:30~16:30

8月 ■第2回 産業のまち発見隊「親子工場見学会」8月19日(火)9:30~16:30

■夏休み親子ロボット作り教室 8月23日(土)、24日(日)(2日間)午前・午後各2時間

10月 ■CAD製図初級講座(Auto CAD2025)(2回目)

10月11日(土)、18日(土)、25日(土)(毎土曜日3日間)9:15~16:30

■秋のロボットセミナー 10月中開催予定

★理事会 10月中開催

★優良従業員表彰 10月1日

11月 ■実践汎用旋盤・フライス盤講座(2回目)

11月1日(土)、8日(土)、15日(土)(毎土曜日3日間)9:15~16:30

■新入社員セミナーフォローアップ研修 11月14日(金)13:00~17:00

■ロボットプログラミング教室 11月16日(日)10:00~16:00

■CAD製図【中級】講座(Auto CAD 2025)※今年度より新規講習

11月29日(土)、12月6日(土)、12月13日(土)(毎土曜日3日間)9:15~16:30

2026 R8年

1月 ■3団体(※)賀詞交歓会 1月9日(金)17:00~19:00

(※)東京商工会議所大田支部・大田区商店街連合会・大田工業連合会

2月 ■やさしい図面の見方講座(2回目)(全5日間)2月中開催予定(日本工学院での開催)

■経営者育成・会計セミナー 2月~3月中旬開催予定

3月 ※その他セミナーについては、日程が決まり次第ご案内させて頂きます。